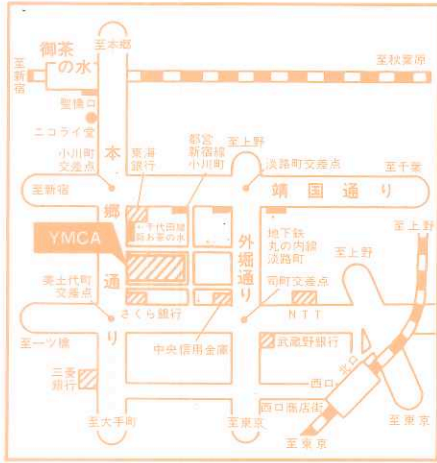


参加対象 教員、社会教育関係者、NGO関係者、教育や子どもに興味のある方。
 定員 100名
 参加費 10,000円(資料として「未来を学ぼう」代を含む)

※なお、なるべくゴミを出さないようにお願いします。お弁当を持参いただける方はご用意くださるようお願い致します。



■東京YMCA国際奉仕センター

JR

- 神田駅 出口(西口、北口)
- 御茶の水駅 出口(聖橋口)

地下鉄

- 丸の内線 淡路町駅 出口(A-2・A-4)
- 千代田線 新お茶の水駅 出口(B-6)
- 都営新宿線 小川町駅 出口(A-6)
- 銀座線 神田駅 出口(北口)

★参加ご希望の方は、別紙の申込書にご記入のうえ、下記の住所宛にお送りください。また、参加費および懇親会費は指定の郵便振替口座にお振り込みください。
 〒114-0013 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビルF ERIC「グローバル・セミナー」係 ☎03-3800-9416 担当：馬場
 参加費用振込先 郵便振替口座：00180-5-710744
 加入者名：ERIC事務局 (通信欄に「グローバル・セミナー」と明記してください。)

後援 外務省、文部省、東京都、東京都、ユニセフ、(社)日本ユネスコ協会連盟、(財)自治体国際化協会、全国地理教育研究会、全国高等学校長協会、全国高等学校国際教育研究協議会、東京都地理教育研究会、東和大学国際教育研究所、帝塚山学院大学国際理解研究所、開発教育協議会、日本国際理解教育学会(予定)

開催日程 1998年6月13日(土)~14日(日)
 会場 東京YMCA国際奉仕センター 東京都千代田区神田美土代町7-1 ☎03-3293-7011

主催 国際理解教育センター (ERIC)
 共催 東京YMCA国際奉仕センター

1998.6.13-14 SEMINAR

国際理解教育研修プログラム「グローバル・ミル・セミナー」開催のご案内

GLOBAL

[開催趣旨]

「子どもたちが学校を築立つ時、何か一つ贈ることができるとしたら、あなたは何を贈りますか」(「未来を学ぼう」より)。子どもたちが何か問題を起す度に、持ち物検査・生活指導と対策の議論が起ります。そこに、私たちが贈りたいメッセージがあるのでしょうか。

子どもたちは、生まれながらにして感じる力も考える力も全てにおいて豊かな精神的成長の芽をもっています。その芽を育てていく、その芽が伸びる機会を提供するのが教育であるはずで、今回翻訳した『未来を学ぼう』は一人ひとりの人間形成を促し、未来を展望していく具体的な方法と道筋を示しています。また、自己の価値観を明確にし、ビジョンを創造するためのアクティビティの使い方の工夫とカリキュラム上の工夫が提示されています。

セミナーを通して、教育に関わっている人もいない人も、子どもも大人も同じ人間という基盤に立って、ともに考え行動していくこと、また、お互いに関わりとつながりに気づき、未来から現在の在り方を考えるための手法とその意味を学び、そして、共有したいと考えています。

グローバル・セミナーも10回目、これからの教育のあるべき姿とともに考えるシンポジウムも企画いたしました。参加型を志向される皆さんにも、きっと参考となる進行になるでしょう。1日目は、新刊本『未来を学ぼう』から「サークル・タイム」や「木の葉」などを体験し、シンポジウムでは個人の人的成長と地球的課題を主眼に活動している方々と「未来の教育とは何か」について、参加者の方々と一緒に、話し合っていきます。2日目は、参加者自身が考える「子ども・人・学校を生かす実践、カリキュラム、学校づくり」に挑戦し、現在の活動とこれからの取り組みを考え創造していきます。

未来のための教育を広げるために、一人でも多くの方々と「未来を学ぼう」の提案するコンセプトと手法を共有・検討し、日本の教育・実践をより豊かなものにしていきたいと願うものです。ご参加を心よりお待ちしております。

GLOBAL SEMINAR

●講師紹介

●SMILE：聖マーガレット・生涯教育研究所

主に関西方面で人間関係トレーニング及びカウンセリングや生涯教育などの領域で、研究・実践に取り組み、企業と提携しながら幅広く活動している。全米教育協会のラボラトリー方式のトレーニングを導入・紹介した立教大学キリスト教教育研究所の活動に参加したスタッフを中心となり1982年設立。

●MDEP：マンチェスター開発教育プロジェクト(マンチェスター、イギリス)

1978年設立。

平和、戦争、環境、開発、人権問題などを機軸として教育プロジェクトの開発、教材作り、教員研修、出版など幅広い活動を実施している。

●デイヴィッド・ハリス氏(MDEP)

中学で理科の教師を30年間勤め、在職中から平和・人権・環境などイギリス内外のさまざまな社会的ボランティア活動に参加。「未来を学ぼう」プロジェクトにも3年間ボランティアとして、2年間スタッフとして関わった。学校における「未来を学ぼう」プロジェクトの受け入れ状況や方法、その効果などの調査に携わる。現在、このプロジェクトのコーディネーターとして、子どもたちや教師と活動している。

PROGRAM

6月13日(土)

10:00 分散会によるワークショップ

「未来を学ぼう」のエッセンスを紹介します。内容はどのグループも同じです。(各20名まで)

英語グループ(1グループ)
日本語グループ(4グループ)

12:00 昼食

12:50~ シンポジウム「未来のための教育を考える！」

SMILE一人を生かす取り組みが地球からの視点を持つ時

開発教育協議会

—地球的課題に個人の視点を生かす時
デイヴィッド・ハリス

—「未来を学ぼう」の視点を生かす時
司会—ERIC

17:00

17:30 懇親会(グローバル・セミナー大賞発表と創造の世界を楽しむ！)

6月14日(日)

9:00~ 子ども・人・学校を生かす実践【分科会】

*【分科会1】学校へ生かす！
人間関係トレーニングに「未来を学ぼう」を取り入れ

*【分科会2】教室の中につながりを！
「未来を学ぼう」の取り入れ方法

*【分科会3】理想の学び舎を現実にする！
「未来を学ぼう」を学ぶ

(12:00 昼食)

*【分科会1】続行

*【分科会2】続行

15:30 *【分科会3】続行

15:40 全体会。共有・ふりかえり・まとめ (コメンテーター：デイヴィッド・ハリス)

17:30 終了

●開発教育協議会

開発教育に関する学校内外・国内外の情報収集、提供とネットワークなど行いながら、ワークショップ・教材作り、出版など行っている。開発教育の推進に関心をもち有志団体、個人によって1982年に結成。

●東京ホリスティック教育研究会

1991年頃から、ジョン・ミラーが提唱した「ホリスティック教育」に共鳴した人々が集まり、全国各地で研究会を作る。月1回、定期的に集まり、身体ほくし、実践交流などの学習会を行う。1995年に東京の研究会、1997年6月に日本ホリスティック教育協会が設立される。機関誌「季刊ホリスティック教育」を発行。